

6 7 8 9 60 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80 1 2 3 4 5 6 7

詩

哥
詞
名
卷之二
一



癸未年正月の事
年より今やうのまゝ残る
くわへぬらげよ。数あれ画ねの中ご
ゆきませまつや。まづきそあいり
アシテ、うむよ。まのめも打リナリ。をのび
るるものびりうるぐ人の
とさけりがまへに。をうりもじめま
まのうふれくのうりきぬ。まうび
の葉うらまく。くわん。まのたく。のうまく。くわん。
て海の香もこすの内匂ひ。うきひて。いげ
仙のくよと。ばゆ。ます。び。打とけて。やす。
けり。うり。ま。人。も。う。り。や。う。も。う。



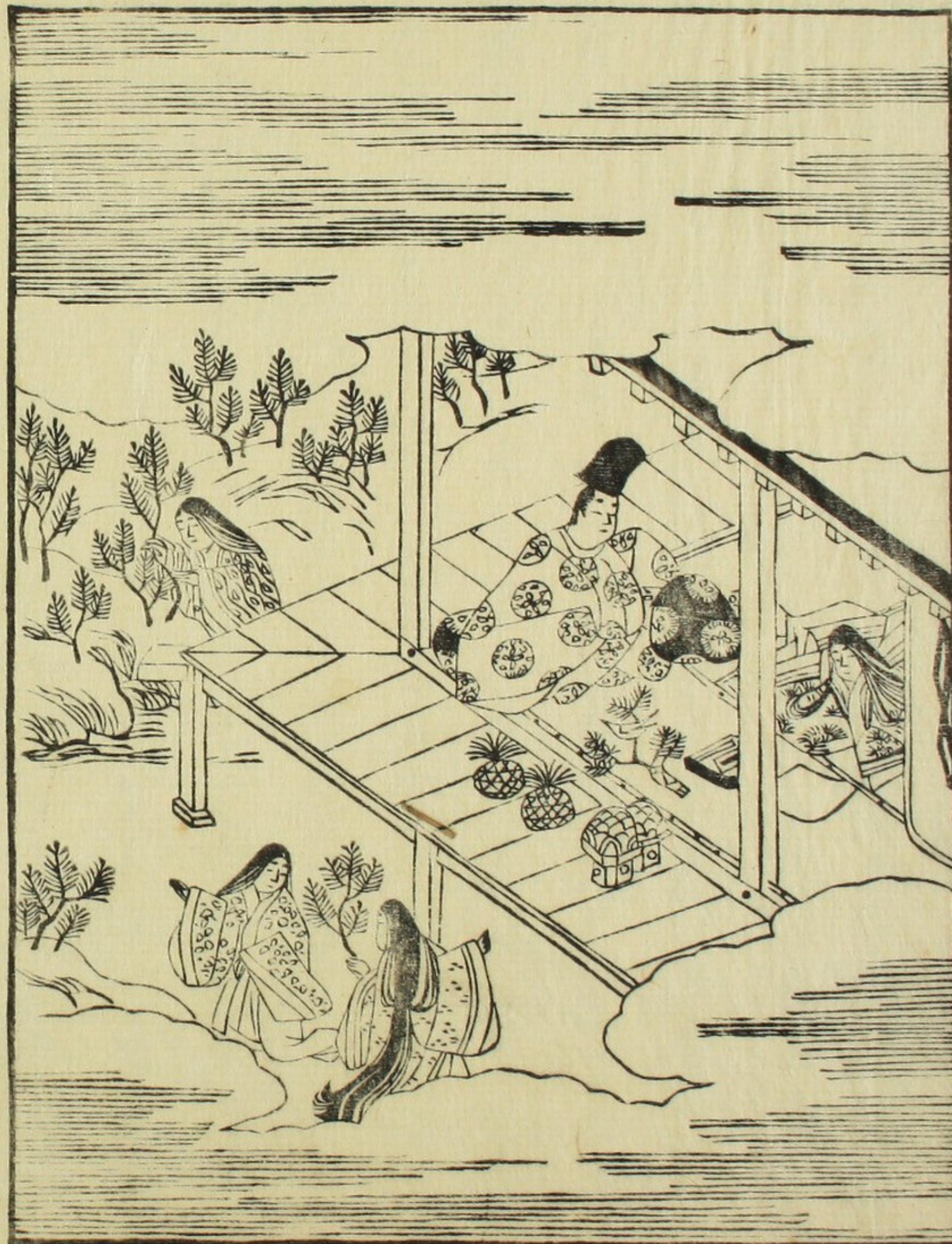
うと娘のれどもえりすまへ
あひるをさりて、
有りぬよりも、りて、ぢやす
よしおつて、
くみはくらうよきて、引きのげ
うの内、税どぞもそ、そくれあくよ、
もくのぞきくれば、
つとも、あま、ひざれと、
あううづのいもひ、
くのなわく、
さんうちりくひまく、めわう、まぬを、

めれえへよ。まう。りれ。あ。わ。れ
中^{なか}の^{なか}も^も。か^かく^く。い^いて^て。ご^ごも^もゆ^ゆう^う。ま^ま。き^きの^のま^ま
ら^らひ^ひう^うれ^れ。ワ^ワく^く。の^のが^がく^く。ち^ちよ^よ。ぎ^ぎり^りの^のま^ま
あ^あす^す。わ^わく^く。そ^それ^れは^は。ひ^ひく^く。ま^まう^う。そ^そさ^さわ^わ
け^けり^り打^た。と^と。か^かか^か。い^いる^る。れ^れ。く^く。く^く。の^のま^ま。ざ^ざく^く
ち^ちん^んと^と。心^{こころ}。よ^よい^い。さ^さつ^つ。あ^あ。け^けく^く。地^じ。^地。^地
び^びく^くそ^そげ^げよ^よう^う。ひ^ひわ^われ^れ。け^けく^くこ^この^の人^{ひと}の^のま^ま
かれ^{かれ}行^く。の^の。や^やあ^あ。う^うえ^え。ひ^ひま^ま。
人^{ひと}よ^よき^き。よ^よう^うと^と。ふ^ふれ^れ。ま^まく^く。
ま^まう^うち^ちよ^よう^う。ひ^ひま^ま。
原

うきひそよしき。けり。でまされあらひだもり
くもりあさ池の邊よ方代とよし。けり。
うきひそけり。何どよつててもすふと紙きれ
せりとあきひそく。字くま。よ。はる乃
日うち。けり。りきの善とひといもじよ。
くとりあさ日うち。娘。の内方よ。りき。り
あき。ワミ人。のせうど。玉。ごうちもふの
お室。うら。ワミ。と。がく。くちわにえ。ひげこ
ど。く。つ。こ。あ。れ。す。う。え。く。ね。え。う。の。教。よ。
う。の。れ。う。す。よ。う。あ。く。

年月となよひわて。うつへよ。よ季の物
あふや。よ。と。き。あ。そ。の。と。え。ゆ。を。け。
衣と。着。一。そ。と。と。ま。と。も。う。浴。あ。す。き。や。う。
ぬ。れ。く。う。は。ま。か。く。ま。く。く。ゆ。へ。う。ゆ。の。あ。い。は。
び。く。く。と。と。ま。う。を。ゆ。び。と。う。け。く。ま。
物。言。う。く。ま。う。へ。よ。あ。す。さ。ひ。す。ゆ。れ。あ。り
風。を。い。ま。で。あ。は。つ。ま。き。一。月。の。べ。ぐ。で。け
ふ。も。づ。え。ぐ。く。心。ぐ。く。と。ゆ。ゆ。と
引。別。九。年。ハ。れ。だ。き。の。モ。さ。一。松。の。福。を。と
され。や。お。だ。う。と。ゆ。ゆ。ま。と。が。く。う。と。あ。り

後
文のれどもあをうすくへど。とくにあきなれ
るやいとへげふ。うそて、わざとせんき
うそもあく。おでやうすこち。たゞけひ
えつる。さう内はそく。せの關てもあく。義
あらゆるひあり。今ハあれども。らやうす
れ有様よめうち。うそて、船へぞり。うそ
うそくあり。うそん。いきの船。ぞり。うそ
うそく。おみき船。うそて、れど。すう。うそ
うそく。まく。うそて、おりす。うち。うそ
うそく。おひよ。うそて、うそく。うそく。
やうそく。うそく。うそく。うそく。



の心ちもとらぬまゝばせりあらゆるも。
ゆゑにひようりめくわらへてこむすらじふ
やすくはいきゆひめくとびゆくまくわら
あくまうぶもわくうりきくわら。の
琴うきとわくを。わくとまくアラ
タケシテアラカ。あくのくひくもく人かく
あくとアラガ。筋りんまくもくとくとく
きくとあくとぞ。書きぐくわく行よお
ひくはくわく。わくとくとくとくとく
うくとく。すのくのくのくのく。あくと
りて。わくとく。わくとく。

やきのねづるはづひてとす乃
うすばとくまき声おひでうらうどもあひてさ
けとへの家へわればあどひくへうきあ
うすらうどうさきうめうあうどもうてえくま
つづくゑにうくまづびきりうだうさく
つづくゑにうくまづびきりうだうさく
カズのゆうかくうのうアのすうへきく
うういきうとれんむうかうとれんむうかく
カズのゆうかくうのうアのすうへきく
はははははははははははははははははは
カズのゆうかくうのうアのすうへきく

うらうどもあひてさ
れこのおとくさくちうてうくへ
あげばのゆくよつうおぬはくへもあ
うきうきうきうきうきうきうきうき
うきうきうきうきうきうきうきうき
けやうきうきうきうきうきうきうき
ゆうやうやうやうやうやうやうやう
ゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆう
ゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆう
ゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆう

との、さうありあつて、うつすまく、とあくのへく。
ほ
まく、うつすりて、ぞおもぐる、とせアミ、こうちあく
例のありあくまつりたりて、がわくびありて、バ、
うつすりて、そうの、とくに、ひくひく、がれとく
ト、とくに、うつすりて、すう、すう、ひく
うつすりて、うつすりて、ひく、ひく、
うつすりて、おもむけられど、ばくまへて、ひく、
もく、うつすりて、うつすりて、ひく、
この院よ、まつりよ、心づく、とくり、
ワや、まつりよ、心づく、とくり、
す、うよ、ひげ、とく、とく、

とく、うよ、心の音、まつり、タ風の、うよ、
おまへの海や、とく、ひく、とく、
よ、おの、うよ、べから、ゆく、うよ、
ひや、とく、とく、おや、うよ、ゆく、とく、
サ、とく、とく、とく、とく、とく、とく、
うよ、とく、とく、とく、とく、とく、
うよ、とく、とく、とく、とく、とく、
うよ、とく、とく、とく、とく、とく、
うよ、とく、とく、とく、とく、とく、
うよ、とく、とく、とく、とく、とく、
うよ、とく、とく、とく、とく、とく、

忙ひそつゝうひ隠ゆ中、女ハタゞもあづ
シテ。今ハクタニ良よき。さればほのすゞをあづ
シテ。うらとけえども、うきぬありもれ
きり。うきぬもさきあべてのくわき。
うきぬのやうにとせば、良よかれ
うきぬとく。はるかめうきぬかもあらう。
うきぬもいじげ。うきぬもうきぬ
うきぬ。ほ、うきぬもうきぬ。
うきぬもうきぬ。ほ、うきぬもうきぬ。
うきぬもうきぬ。ほ、うきぬもうきぬ。
うきぬもうきぬ。ほ、うきぬもうきぬ。
うきぬもうきぬ。ほ、うきぬもうきぬ。
うきぬもうきぬ。ほ、うきぬもうきぬ。

まひあつゆくさんとすりへば。まひ
ます。よつひゆて。銀齶シロヒビの阿闍梨アチャーリの心ハコの事モノ
み。ゆうとて。まめが見えゆひゆ。でうん。うもぎ
めをえうれす。後アフタ。まし。仰アキとアキアキきよ、ばく
えれあまくられき。まくらマクラ。まくらマクラ。心ハコのく
ち。あまくらマクラ。まくらマクラ。まくらマクラ。まくらマクラ。
つまよまづくの入アリてあります。内ナカニ。まめもつ
よふがの身カラ。よゆづりきてゆへ。まもうち。ま
まひつらうか。さゆみの衣アヒ。まへよもうち。ま
まひの経エコノミ。まうぶとゆうりわきれ
まんまと。がざくらガザクラ。まくらマクラ。まくらマクラ。

初音

ゆれうへある心のまゝまゝくの
肉ふくらむにふきひよしとのげ
てひひの匂のふくらむひきでふくら
みをぬあれうあもしりれどすまほ
けひのひきびくとてやまくへのよざ
西もくらむあめのまくらむくも
わくらむにまくらむくも

かくのまよひのつる
あらわすとえられひらりとてすまありぬ
もぐらとく



うらやまのあさまよも。うのさきりて。うげどりて。うの
空ほのあさまよも。うのさきりて。うげどりて。うの
よひあす。ふやまづびのすとく。うて。ぬけよふえ
きをはりて。とうひとめげ。みぬ衣よみて。ぬの
くわら。もうもうち。うち。う開かの。うらども。うげ
うめ。れんもあうと。う人のけりひあり。うを
うびの事。心ぞく。うよ。うわうれて。袖うち。う
ぞえと。うもうち。うれば。洞ぐみゆて。ねがう
うまく。うくよきひて。ぞやめべく。うち。うり心う
うけられ。うす。うりのじつび。うも。う
けり。うど。のぬ。うも。うも。うりけひて。
うくよめ。うす。うりけひて。

あづふきへあれ行ひとすもづわよやう
もみて心まじりにせのひくひやどをねよ
こまうすゆうそくうれおばくちや
くとすきとすもあぬれどもひありき
きよともあ、やつむえんさよとのゆふはく
まうらせのうとくとくまくゆくちまう
とくまうくわあくはくや、やくとく
らううらうれむひいばげくようやんとく
くひくまうりて、くとくとくあれうとく
あもまくわらうとくまくうくまく

のまひくべくもあらず。たゞのうち今のお祓を
あきて、さううのよしひざまれり。と。あきこを
もやどゆふやうてもかうげよくれどもかんぐ
御すう。これうのぞきつゝにて。おばのうちさ
日さずのめりめりくあれど。心の中へをとくと
えんご。到りありそらの別のまことろめぐ
され食をあくねうど。うつづのめづれをも
程よつて。あそれとゆび。う。城ひとめび
あくめぐれのゆくあれど。もとく
そくもとくはなづかよつけ人のゆづりつけり。
あまのくきくおり。またばく。うそらの

けくろよううとて。あんがほくの人々年々をく
けり。ハ。おもとがうあり。うちうう。内裏
まつて。づきよげ院禁よまつ。の院とぞう。院の
ゆづくよぬよさう。がのくまうかくすとまうりて。
うす室すくわらをのえちうくぬよ。後じぐらども。
ものじくぬはうう。のくぬ。かえのきもつと
むくろくわらうて。このわまへつとまううづ
て。れきうそことどもあうれど。左のくわら
まくらよ。つづり。おとよつるよ。おとよ
せおハ。寝殿の南のれど。つうまで。とくの

ひめみよかひりきう。ふもひとじう
おつまきば。こよ帳。そくらでてこくえつま。
本義院。まきいのまのぬくらちどりぐりけりゆど。
東もやうくあけゆけば。さげじよやうて。とも
がきゆべき紙。例ありとくらはす。こく
くくくくて。づくくてもやをきよ。おす
あドミ曉月。およきやうくすうつじ。松うき
おづくせむろー。やす風トくもきめぐき程。
おとせのるべ。もうるよ。あくびきねのえあひ。ちよの
みうちみゆう。うごのうるは。ひもうちみゆう
あれど。あくよや。ももく心ゆきいのうのう

は。どうり。夜の中ねのあ。内のおのひ。おのひ
そくれて。わすく。おやうう。ほのくとめりよ。
ゆうやうして。ふくらむよ。けじだうひて。
くわうすくちうと。声。の。絃。うもくさ
と。あくくん。そくら。それば。くくづ
れもづれ。おどりぬ袖。ぐら。と。ぼれつて。と
くら。もく。つら。あひ。ど。あけ。ばの。くくよ
まの。く。そくら。出よけ。寵。の。うら。と。く。く。
あやしく。心ゆく。おれよ。さわりけ。うら。う
ぐの。う。うれ。う。と。と。ざきの。く。う。う

うすくちよぐりのがきりうるべまひや
しもすめぬと制のり、うきりうてまうでね。
あけもてめればばくじくをつるをぬめ。
むくのますくめのうのこよりて、日うくにま
きり中^内ののゑハ辨のわぬり、がくくをく
ぎうハあやまくりそくどもさひせうにゆ
そあれづくへのひとはまくよ／＼うさう
あやまくれうともゆはうりへ、ちくけづ
すらハこのものへえ／＼まく／＼だりん／＼
ゆねあざせび／＼きやみやげふよあく
てんくさんざひまで／＼がくのあざれじ

まくまくかくまくまくまくまく
あくもくはのすきくすらの心をそそ
じぐれもとおざめすくうううううう
うううううううううううううう
すくべくらすまくのうひて、へぐのまく
のくひくつて、ううでゆのううう
れううのほ离^{モテ}あくべーとのうひて、がくせ
うううううううううううううう
えり生て、うのひて、ゆくぐるをうのへ
せゆひやくすばくうううううううう

